# 平安時代からの 皇室の文化を感じられる場所 /

### KYOTO GOSHO



## 京都御所ってどんなところ?

京都御所は1331年から1869年までの約500 年の間天皇のお住まいだった場所です。古く は内裏と呼ばれていました。現在の京都御所 は、そのほとんどが安政2年(1855)、孝明天 皇の時代に造られたものですが、平安時代の 様式を復元しているなど、古代からの宮廷文 化を感じることができます。



ここは、内裏が 焼失した時などに 貴族の邸宅を 仮のお住まいとして 使う里内裏という 場所でした

## 京都御所歴史年表

安土桃 平 室 平 鎌 江 明 大 昭 令 戸 安 倉 町 治 正 和 成 和 794年 ● 京都に都を移す 1788年 **天明の大火(内裏焼失)** 1227年 1331年 1790年 ● 寛政度内裏 造営 869年 大正天皇の即位の礼 昭和天皇の即位の礼 皇室のご使用や 源氏物語や 徐々に ●光厳天皇が現在の場所で即位 古来の皇室文化を 枕草子の 現在の大きさに 平安宮内裏焼失 再建されず 嘉永の大火(内裏焼失) 安政度内裏 造営(現在の京都御所) 明治天皇が東京に移られる 世界 今に伝える場

こせい 「古制の復興」を兼ねた

御所造営だよ

平安時代の 様式の復元は



時の天皇・光格天皇が、古来の 儀式を本来の姿で行うために 必要な舞台を実現しました。



有職故実の学者・裏松固禅 の研究や、絵巻や古い建築 を参考にしたそうです。

現在の京都御所は、

寛政度内裏と

同じように造ったよ

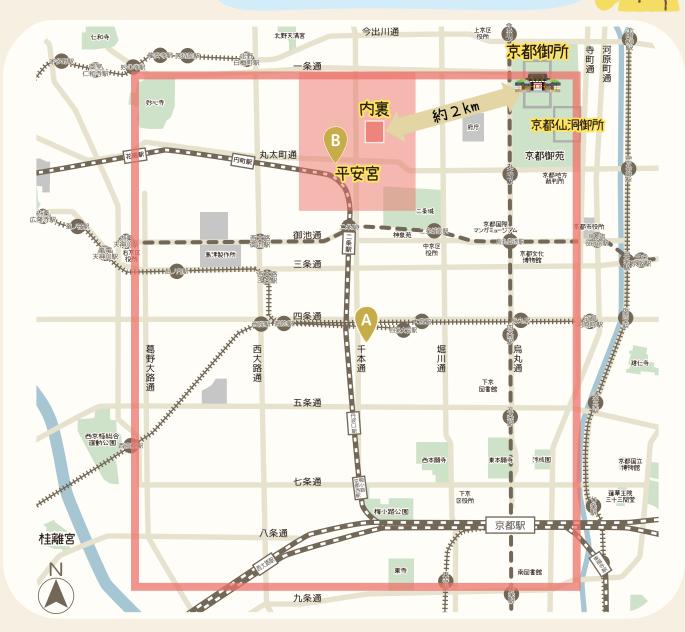
# ( 平安京 M A P

794年、第50代桓武天皇が長岡京から平安京に遷都しました。平安京の北側中央部の平安宮(大内裏)の中に内裏がありました。この内裏は度重なる火災などにより大内裏の外に移転し、様々な貴族の邸宅を仮の住まい(里内裏)としました。

現在の京都御所も元々、里内裏で東洞院土御門殿という貴族の邸宅を用いたものでした。



### 現在の京都御所は内裏から約2km離れたところにあります





平安時代の様式の 復元は、この平安宮 内裏の頃を目指した ものなんだね



## へいあんきょう 平安京

平安京は三方が山に囲まれた京都市の中心部に位置し、東西に約4.5km、南北に約5.3kmもあるとても大きなものでした。



## 平安宮(大内裏)

北側中央部には、天皇のお住まいである内裏や重要な儀式を行う朝堂院をはじめ、国の政治や行政を行う官庁がありました。

## 京都御所ではどんなことが行われていたの?

## 年中行事

平安時代から、天皇と貴族は数多くの儀式や行事を日々行っていました。正月や節分、七夕など、年中行事は時代に合わせて形を変え、今も大切に受け継がれています。



元日節会『旧儀式図画帖』(部分) 28巻 東京国立博物館所蔵 Image: TNM Image Archives

## 即位の礼

新たに天皇となった方が即位(天皇になること)を公に宣言するのが「即位の礼」です。現在の紫宸殿では、明治天皇、大正天皇、昭和天皇の即位の礼が行われました。



即位礼『明治天皇紀附図』宮内庁蔵

## 江戸末期の歴史の舞台

二条城での大政奉還の後、明治政府の基本方針を示した「五箇条の御誓文」の発布や、今後の徳川将軍家の処分を決めた「小御所会議」が行われました。



五箇条御誓文『明治天皇紀附図』宮内庁蔵

ご即位などの 乗事を祝う茶会をお催しになるなど、 現在も皇室がご使用になっています



# 京都御所の見どころ

## さまざまな時代の 特徴を持った建物



平安時代の寝殿造や、床や棚を取り入れた書院造のほか、室内にシャンデリアのある近代的な生活様式に対応した建物があるなど、いくつもの時代の特徴を持った建物が存在しており、日本の建築の歴史の移り変わりが学べます。

## 四季で"景観が"変わる 美しい庭園

京都御所内の庭園「御内庭」は、北から南に流れる遺水を中心としたお庭で、春は桜やツツジ、藤が咲き、秋は紅葉、冬は雪景色など、季節ごとに美しい景色が広がります。一方、大きな池がある「御池庭」では、池の周りのどの位置から見ても美しい光景が見られます。



### 名だたる絵師たちが am 画いた障壁画



京都御所内には、障壁画が全部で1800面ほど存在しています。障壁画のほとんどは安政2年に、97人のすぐれた絵師たちが1年半ほどの短い期間で、一気に画きあげたものです。当時の京都画壇のタイムカプセルとも言われている素晴らしい障壁画です。

# (京都御所 M A

## ししんでん 紫宸殿



紫宸殿は平安時代の様式を再

現して建てられています。京都 御所の建物の中で最も格式の 高い正殿で、「即位の礼」もここ

高御座と御帳台

京都御所周辺には6つの 大きな門があって、身分に よって入る門や入り方が ちがっていたんだよ

紫宸殿の中に置か れている天皇と皇

后の御座です。大

正時代に作られ、 令和の即位の礼で

も使われました。

例えば

官秋門

で行われています。

CHECK

しゅんこう でん

春興殿

大正天皇の即位の礼に合 わせて造られた建物で す。皇位と共に継承され る「三種の神器」のひとつ 「鏡」を安置するために造 られました。

## 今の京都御所に 実際住んでいたのは 孝明天皇と明治天皇です



せい りょう でん 清涼殿



天皇の日常のお住まいであった 場所で、平安時代の様式で建て られています。平安文学にもよ く登場する建物で、天皇の仕事 場でもありました。





京都御所を未来へつなぐため、屋根の 葺き替えや障壁画の修理、庭園の手入 や防災訓練なども行っています。





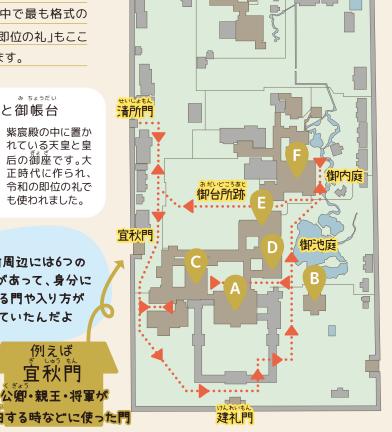
## 内する時などに使った門



こごしょ

小御所

皇太子や皇位継承に関わる 儀式、武家との対面や和歌・ 管絃など多くの儀式が行われ ました。「小御所会議」が行わ れた場でもあります。



## お がく もん じょ 御学問所



全面畳敷きで和室の続き間 があるなど、書院造の様式が みられる建物です。学問など に関する儀式の場であり、 「王政復古の大号令」が発せ られました。

### お つね ご てん 御常御殿



豊臣秀吉が御所を造営した 際、天皇が日常生活を過ごす 場所として新たに造った御殿 です。西側には、七夕や茅の 輪などの行事を行っていた御 三間があります。